

これから。
もっと、
きっと

シルバー だより

CONTENTS

特集 会員のつどい	1
7区通信	3
就業先情報(南区)	12
講習会等実施結果	13
会議開催状況	15
実績報告/事故発生状況	16
会員手帳の配布/健康診断受診/まごころランチ	17
歴史散歩(中央区)	18
会員のひろば	19
互助会だより	21
事務局からのお知らせ/編集後記	裏表紙



市営姪浜旅客待合所(通称 能古渡船場)の近くに位置する新しい住宅街「マリナタウン」で、一際目立つ高層マンション。そばの「マリナタウン海浜公園」から福岡のシンボルの建物群が望めます。

作:岡崎 幸雄(西出張所)

公益社団法人 福岡市シルバー人材センター

会員のつどい 開催

東

区

ひがしく



- 日時 3月23日(金) ●参加人数 296名
- 場所 コミセンわじろ(和白地域交流センター)
- 内容 23年度東区事業活動状況報告
・特別講演
福岡市の防災「覚えておこう 災害への対応」
・アトラクション
(芸能大会・抽選会)

博多

区

はかたく



- 日時 3月10日(土) ●参加人数 320名
- 場所 博多市民センター(ホール)
- 内容 ・23年度経過報告と24年度活動方針
・23年度安全報告と24年度方針
・特別講演
「だまされんばい」 悪質商法
・アトラクション(抽選会など)

中央

区

ちゅうおうく



- 日時 3月14日(水) ●参加人数 195名
- 場所 福岡市市民福祉プラザ(ふくふくプラザ)
- 内容 ・23年度中央区物故会員追悼黙とう
・来賓及び23年度中央区役員紹介
・23年度事業実績報告
・アトラクション
シニアネット福岡
「チンドンオーケストラ」

南

区

みなみく



- 日時 3月14日(水) ●参加人数 250名
- 場所 福岡市男女共同参画推進センター「アミカス」
- 内容 ・平成23年度 南区経過報告
・南区役員・事務担当紹介
・特別講演
「冬季入浴の安全性について」
・アトラクション
(サークル紹介・演芸・抽選会)

今年も各区において、「会員のつどい」が開催されました。
23年度の事業報告及び24年度の活動方針説明などが行われ、その後のアトラクションでは、講演、演芸、お楽しみ抽選などが行われました。

城南区

じょうなんく



- 日時 3月27日(火)
- 参加人数 219名
- 場所 城南市民センター(大ホール)
- 内容
 - ・平成23年度物故会員追悼
 - ・来賓及び支部役員紹介
 - ・城南区事業報告・事故発生状況報告
 - ・アトラクション
(演芸会・抽選会)

早良区

さわらく

- 日時 3月8日(木)
- 参加人数 383名
- 場所 早良市民センター
- 内容
 - ・物故者追悼
 - ・23年度早良区事業計画推進状況
 - ・アトラクション
福岡市消防局音楽隊による演奏・抽選会



西区

にしく



- 日時 3月16日(金)
- 参加人数 310名
- 場所 西市民センター
(大ホール)
- 内容
 - ・23年度事業報告
 - ・西区事務担当紹介
 - ・特別講演
「川柳に見る人間模様」
 - ・アトラクション
(演芸会・抽選会)

7 区 通 信

東

区

ひがしく

囲碁クラブの東と博多
交流親善試合

2月19日東区老人福祉センター東光園において博多支部7名と東支部8名による第4回囲碁クラブの親善交流対局大会が行われました。同クラブの交流戦は、毎回交互に場所を替えて交流しているもので、メンバーはお互いに顔なじみ。「やあ、やあ元気でしたか?」「腕を上げましたなあ」と和やかな中にも盤面火花を散らす熱戦を繰り広げましたが、今回は東に軍配が上がりました。試合後は懇親会に移り和気あいあいの中で話も盛り上がり、囲碁の話はもちろんのこと、「これからも健康第一で頑張っていきましょ」と次回の交流戦に向けての再会を約束して別れました。

囲碁クラブ 村岡 秀雄

「健悠会」多々良川清掃活動で
感謝状を受ける副島東区長も参加された
今年2月の清掃

ボランティアグループ「健悠会」（藤村悠会長他50余名）では、平成18年発足以来東区花火大会の後清掃・ラブアース・多々良川清掃・世界で絶滅危惧種指定鳥のクロツラヘラサギ観

鳥会・志賀島歩こう会・駕与丁公園歩こう会・観桜会などを企画し活動しています。このたび多々良川清掃に貢献があったとして「NPO法人ふくおか湿地保全研究会」より感謝状を贈呈されました。健悠会ではさらに地域貢献活動や自然保護活動、会員相互の健康増進や生きがいづくりに活動の幅を広げていきたいと張り切っています。

健悠会 外園 一彦

広告班（チラシ配布班）の活動



東区広告班（中原泰班長他30名）は今年度も配分金が10傑に入る職群に成長してきました。県だよりや市政だよりの業者選定で多少の違いはありますが、毎週水曜日を会合日と決めてチラシおよび配布物の入荷受け取りと分配作業を行っています。遅配・誤配・配布不足など苦情やクレームもありましたが、最近ではずいぶん解消され、就業会員がお互いに不足の部分を補完しあいながら健康第一・安全第一を合言葉に就業にあたっているところです。

チラシ班 中原 泰

23年度会員の集い

3月23日（金）コミセン和白5階ホールにおいて「23年度会員の集い」を開催しました。

あいにくの曇りのち雨の予報にスタッフ一同やきもきしましたが、296名の会員に参加いただきました。副委員長の司会進行で開会、松田

常務理事よりご挨拶をいただき、石崎委員長からは23年度の支部活動と全市における東支部のポジションなどについて報告がありました。また特別講演として福岡市防災危機管理課より「福岡市の防災・覚えておこう災害への対応」と題して講演いただき防災意識の高まっている今日、参加者は真剣に聞き入っていました。午後からのアトラクションでは、カラオケ・日舞・博多にわか・フラダンス・剣舞・詩吟と演目の幅も広がり会場も拍手喝采。お楽しみ抽選会では当選者はニコニコ顔。午後3時竹内理事の万歳三唱で和やかなうちに閉会しました。



副委員長 広田 昌平

博多

区

はかたく

次期正会員役員（理事）兼 博多区委員長の選挙



現在、就任されています坂井佳晴博多区委員長は、平成24年5月に任期を満了されます。

これに伴い次期正会員役員（理事）兼博多区委員長を選考するため、平成23年11月に選挙管理委員会が設置されました。選挙管理委員会は「正会員役員選考基準」に基づき12月20日に立候補者募集の選挙公示をしました。

倉岡副委員長が立候補され、選挙管理委員会の厳正な資格審査ののち、平成24年2月11日

の臨時役員会で信任投票が行われ、倉岡副委員長が選出されました。

倉岡副委員長は、次のように抱負を述べられました。

基本的には、坂井委員長が確立された路線を継承して行きたいと考えています。

- ① 開かれた博多支部及び情報公開を続けます。
- ② 会員の健康管理を基本として安全・適正就業を目指します。
- ③ 24年度は公共の伸びが鈍化すると考えられます。このため便利屋のPRをはじめ、新規就業先の開拓や新入会員の増加に取り組みます。
- ④ 剪定班・刈払班の就業会員を育成していきます。

と話されました。

次期正会員役員（理事）兼博多区委員長の選任は、5月の総会で正式決定されます。

「会員の集い」を開催

平成24年3月10日（土）午前10時から博多区市民センターホールにおいて、来賓・会員など320名が出席して開催されました。

原副委員長の開会の辞に続いて、坂井委員長の挨拶及び松田常務理事の来賓挨拶がありました。議題の23年度経過報告および24年度基本方針と重点活動方針について坂井委員長から説明があり、その要旨は次のとおりです。

23年度の受注比率は、1月末現在で公共59%・民間41%となっています。対前年比較では公共119%と伸びていますが、民間では96%と少し低いようです。3月までには、前年を上回るよう努力したいと思っています。また、就業された会員に支払う配分金は、3月末に23年度目標額を超える103%前後になる見込みです。

24年度は、①会員の健康・安全を最優先 ②就業開拓の推進と就業先の維持 ③会員主体の運営を推進 ④事務所内の情報公開と連携の強化の4項目を重点活動とします、と説明がありました。



次に松尾安全担当から23年度安全報告と24年度の安全方針について、昨年度に続いて事故『0』を目指して、会員のご理解・ご協力をお願いする旨の話がありました。

午前の部の最後は、高齢者が振込み詐欺や悪質商法でだまされている状況を防止するため、福岡市消費生活センター相談員・水野久美さんの“だまされんばい悪質商法”の講演がありました。悪質商法には、いろいろな手口があることを分かり易く説明され、「高価な買い物や契約で悩んでいる時、おかしい・怪しい・だまされているかも…と感じた時には一人で悩まずにすぐに相談してください」と話されました。

参考のため、相談先の電話番号を掲載します。

福岡市消費生活センター(月～金9時から17時)

相談専用電話 781 - 0999

午後の部のアトラクションでは、恒例のカラオケ大会がありました。最後に出演された新川弘人さんの「ありがとう感謝」では、“すべてに感謝の念”を込めた歌唱力に、会場の皆さんは深い感動を覚えました。次にお楽しみ抽選会が催され当選番号が発表されるたびに、歓声が上がするなど大いに盛り上がる大会となりました。

広報委員 松井 洋治

中央

区

ちゅうおうく

23年度地域懇談会を終了して

1. 江口委員長のお礼の言葉

本年度は、地域懇談会の進め方として従来の

やり方を改め、地域に直接出向き11会場で開催しました。未就業者をなくしていこうと出席者の自己紹介に耳を傾け、活用させていただきました。お陰様で随分改良ができ、皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

2. 地域懇談会での意見交換、質疑応答の要約

- (1) 会員名簿の発行については、個人情報保護法観点から控えます。
- (2) ウェブ、インターネットの活用については、その後立ち上げました。
- (3) 地域班長の職責については、地域班長設置要領の通りです。
- (4) 刈払除草時のヘルメットについては、安全就業のため着用の義務とします。
- (5) 交通費の廃止については、委員長から詳細に説明がありました。
- (6) 就業期限は業種により考える必要性については、定められた基準通りです。
- (7) 車椅子利用者に対する対応訓練については、今後検討します。
- (8) 業務マニュアルの作成については、業種が多種にわたり一律には難しいです。

その他、立派な議案書は経費節減の折、一考の要があるのではないか等、意見がありました。



役員会開催

2月24日(金)午前10時から、会議室で役員会が開催されました。

1. 江口委員長の挨拶及び報告

本年度最後の役員会でございます。多くの質問、ご意見をいただきたい。なお、役員会閉会后、選挙管理委員会による次期委員長理事選考が行われます。長時間になると思いますがよろ

しくをお願いします。

続いて、23年4月～24年1月までの配分金実績について報告があり、実績は実質前年比96%で推移しています。公共、民間の構成比は公共が42%で民間が減少し、公共が増える傾向は全市共通であると報告がありました。

2. 安全就業について（首藤安全担当）

23年4月～24年1月までの事故発生状況は中央区では4件で対前年比6件の減少ですが、2月に帰宅途上、自転車が横転し骨折する事故が発生しています。前回の会議でお願いしましたが、健康診断の受診とインフルエンザの予防接種を要望いたします。

その他、江口委員長からセンター事業の適正について関係資料により詳細に説明があり、質疑応答の後閉会しました。

続いて、選挙管理委員会による次期委員長理事の選考が行われ、岩男会員が選出されました。

伊藤会員、中央消防署から感謝状

伊藤会員は1月14日中央区六本松1丁目で



発生した火災において現場に駆けつけ、3人の連携により的確な初期消火や避難誘導を行い、

被害を最小限に止め119番通報を行いました。

伊藤会員は、「日頃の消火訓練が役に立ってよかった」と話しておられました。

広報委員 井手上 勉

南

区

みなみく

「会員のつどい」開催

久しぶりに春の陽ざしを浴びての3月14日



（水）午前10時30分から高宮アミカスにおいて250名が一堂に会し「会員のつどい」が開催されました。この会は会員の労をねぎらう祭典と呼ばれています。開会行事の寸前には館内は立錐の余地もない程の満席で熱気がこもっていました。江口副委員長の開会のことばに始まり、矢口委員長の挨拶に続き、来賓の松田常務理事、荒木理事から最近のセンターの動向について挨拶がありました。

矢口委員長より、23年度の経過報告がありました。要約しますと次の4項目です。

- (1) 配分金年間目標の達成率は96.2%でマイナスの要因は自動車運転の業務撤退と屋外作業の減少。
- (2) 会員数の目標は1,100人で大体達している。年度末の退会者も予想されるが年間を通し、200人程の入会がある。
- (3) 就業率は男性49.3%、女性53.9%で全市の統計より1%低下。未就業者は事務所へ来られて相談をして欲しい。
- (4) 事故発生状況は昨年度は19件でしたが、今年度は8件と大巾に減少。会員の安全に対する意識が高揚したのが原因で喜ばしい。

更に、24年度の事業計画目標を4点掲げられました。

- (1) 安全就業の徹底、就業事故の撲滅。
- (2) 公平・公明・透明な支部の運営。
- (3) 就業開拓に力を注ぎ、就業先の増加。
- (4) 公益社団法人としてコンプライアンスを行い、適正就業の徹底と就業機会の均等化を促進。

団塊の世代が高齢者となり、新たな社会活動への参加意志を持った方々が多く入会することが予測されます。会員が増大するとセンターの対応力が重要になります。就業機会が少ないと不満が出てバランスがくずれます。今後2～3年

は企業からの受注は低迷が予測されますが、子育て支援や家事援助関係の受注は増加が期待できます。シルバー事業の中核は地域です。地域の実態を正しく把握し、地域が求めていることは何かを判断して活動することだと思います。会員が地域のボランティア活動に積極的に参加し、地域住民とふれあうことで、思いがけない就業先を頂くこともあります。私たちは就業の機会を黙って待つのではなく、自主・自立の精神で行動する勇気を持つべきと考えます。

午後の部は、「冬季入浴の安全性について」と題して、九州大学大学院の栃原裕教授の講演がありました。

“家庭内の不慮の事故は浴槽内の溺死”がトップで次に転倒・転落、そして窒息だそうです。日常生活での入浴は疲れを癒すためにあるという安易な考え方には大きな落とし穴があることに気づきました。入浴の際、人の血圧は変動し、寒い脱衣所では血圧は高くなり脳出血のリスクが高まります。浴槽内では血圧が下がっていきます。高齢者は温度差の感覚が鈍くなっていますので、脳卒中や心筋梗塞による転倒などが多いそうです。特に入浴中の血圧低下で意識障害になれば、溺死につながるという理論でした。

①脱衣所等を暖かくし、熱すぎるお湯に入らない②入浴前後に水分の補給をする③飲酒後の入浴は危険である等の入浴の際の注意事項を、過去の貴重な資料をスライドで提示し説明されました。会場からは万雷の拍手を浴びました。

アトラクションの部では、互助会サークル活動の紹介、フォークダンス、手品、カラオケ、ステージ上で民謡「元気に百歳音頭」を踊り、会場の雰囲気盛り上げていました。最後は会員待望の「お楽しみ抽選会」終了後、内山副委員長の閉会のことばで長時間に亘る「会員のつどい」を終えました。

初めて参加された女性会員は、「とても楽しいひとときでした。皆様の笑顔と元気を十二分に頂きました。本当に有難うございました」と、感謝とお礼を述べていました。

「第2回配食班全体会議」開催 — 応急手当と心肺蘇生法 —



去る2月15日（水）13時から2階会議室で、江口・内山両副委員長、配食班員13名が参加し

て開催されました。南消防署救急課の宮野係長をお迎えして講習をしていただきました。

配食班の業務は、利用者（要介護者を対象）にお弁当を届けるだけではなく、玄関で手渡す際に声かけをして安否確認をすることが重要なのです。万一、憂慮すべき事態に直面した場合、適切な状況判断によって行動しなければなりません。先般、配達のために玄関口で待っていると、奥の方からか細い声で「お願いします。救急車を呼んでください」と頼まれました。救急車の手配ができたことで安心しましたという事例もありました。

新聞報道によると、一人暮らしの高齢者が増えているそうです。「孤独死」や「孤立死」はどこでも起こり得るのです。薄れつつある地縁血縁の結びつきを何とか回復しないと超高齢化社会が直面する問題は深刻化していくと思います。

はじめに、ビデオ「救命の第一走者」を鑑賞し、宮野係長が応急手当に関する基礎知識や現場での様子をわかりやすく話されました。その後、AED（自動体外式除細動器）の使用法と心肺蘇生法の流れに沿った体験学習をしました。要約しますと次の通りです。

1. 様々な原因で呼吸や心臓の停止した場合には、救急車が来るまでに、居合わせた人が手当をしたかによって、生死が決まります。福岡市の場合は救急車の到着に平均して6分20秒かかるそうです。
2. AEDは電気ショックを与える機器で、心停止の時に用いられます。電源を入れるとメッセージに従って操作ができます。設置

されている場所が少ないことが難点です。

3. 心肺蘇生法の流れをいいますと、傷病者の反応を確認。耳元で「大丈夫ですか」「もしもし」と呼びかけて意識の有無を確認し、反応がなければ「救急車を呼んでください!」「AEDを持ってきてください!」と要請します。その間にあごを持ち上げて気道の確保、呼吸の確認をします。次に人工呼吸を1回に約1秒かけて吹き込みます。直ちに胸骨圧迫を30回繰り返すことによって体内の血液を脳へ送り込み、うめき声や平常に近い状態になったら中止します。人工呼吸法については、感染するのではと不安な場合には、胸骨圧迫だけでもいいとのことでした。

この講習会を通して、配食班の方々が真剣に取り組まれている姿が印象に残りました。これからも尚一層利用者の一助となり活躍されますよう念じています。

広報委員 高濱 一郎

城南

区

じょうなんく

「会員のつどい」開催



新役員紹介

「城南区会員のつどい」が3月27日午前10時より城南市民センターで開かれ、堂園委員長より下記の通り事業報告が行われました。

[平成24年2月末の城南区の会員数]

男性……473名（前年比0）

女性……238名（前年比-4）

合計……711名（前年比-4）

（全体の会員数は7,272名）

城南区の会員数は21年度、22年度と増加してきましたが、23年度は減少しています。

[2月末の城南区会員の年齢別構成比]

	男性	女性	合計	構成比	全市計	構成比
65歳未満	62	53	115	16%	1,239	17%
65～69歳	188	80	268	38%	2,564	35%
70～74歳	147	78	225	32%	2,322	32%
75歳以上	76	27	103	14%	1,147	16%
合計	473人	238人	711人	100%	7,272	100%

[23年度の配分金の予測（単位千円）]

1 市駐輪場～保管所	42,310（前年比+4,112）
2 屋内外清掃・作業	29,688（同+1,873）
3 剪定	15,142（同+1,541）
4 除草・刈払除草	10,495（同-87）
5 家事援助	10,055（同-1,168）
6 駐車場管理	8,969（同+541）
7 施設管理	8,789（同-707）
8 その他	9,675（同-8,237）

合計 135,123（同-2,132）

配分金の減少は、不況と個人消費の低迷の影響を受けており、さらに、23年度は公益社団法人に向けて事業を見直した結果、送迎車運業務やスーパーの品出し業務等から撤退したことも響いています。

委員長の事業報告に続き、金子安全・適正就業担当より事故発生状況の報告がありました。

平成23年4月から24年2月末までの支部の事故発生状況は次の通りです。

◎傷害事故……1件（前年比0）

◎賠償事故……1件（前年比0）

◎自動車事故…3件（前年比-4）

傷害事故は就業途上での自転車転倒、賠償事故は刈払除草作業中の石飛ばし、自動車事故3件は配食就業中の事故です。

この後、24年度の役員紹介があり、昼食を挟んで福祉ボランティア「紫陽花の会」による歌と踊りを楽しみました。

なお、公益社団法人に認定された時点で、支部の名称は「社団法人福岡市シルバー人材センター城南支部」から「公益社団法人福岡市シルバー人材センター城南出張所」に変わります。



アトラクションの全員参加による総踊り

「女性会員のつどい」開催

「女性会員のつどい」が2月22日、城南市民センターで開かれました。

堂園委員長による城南区の女性会員の構成状況、活動状況の報告、金子安全・適正就業担当による事故発生の報告が行われました。

続いて、区役所リサイクルボックスの受付をしている塩川待子さん、中村学園大学女子寮の清掃に就業している岡田美代さん、家事援助に就業している日吉紀代子さんによる体験発表がありました。

昼食を挟んで午後から「ヘアサロン友泉」を経営されている藤原祐子さんによる「カラダも・ココロも・ヘアも生き活きと!」というテーマで、頭髮の手入れと健康、頭部のマッサージ法等についての講演が行われました。



広報委員 藤 勇三

早良

区

さわらく

「会員のつどい」開催

3月8日(木) 10時から早良市民センター



4階大ホールで、会員 383 人が参加して「会員のつどい」が開催されました。

塩野副委員長の司会進行で、先ず物故者に対しての黙祷から始まりました。次に来賓として出席された松田常務理事と斉藤理事から挨拶とセンターの現状説明がありました。続いて五島委員長から23年度早良支部事業計画推進状況の説明がありました。

休憩を挟んで、アトラクションとして福岡市消防局・消防音楽隊の古賀隊長以下38名による『北国の春』『川の流れのように』等の演奏と、女性隊員「F-クィーンズ」の演技で全員が楽しい時間を過ごしました。

最後に、恒例の万歳三唱があり午後1時に閉会となりました。

役員会開催



2月21日(火)の午後に、会議室で役員会が五島委員長・斉藤理事をはじめとして、役員41名が出席して井上副委員長の進行で開催されました。

先ず、五島委員長から次のような話がありました。

① 支部事業推進状況(4月～1月)

配分金は前年比104.4%で市全体の103.6%を上回っています。又支部で重要指標としている平均就業率も58.5%となり市全体の55%

を上回っています。

② 「会員のつどい」が3月8日に早良市民センターで開催予定であり、アトラクションとして市消防局から消防音楽隊をお招きしていますので多数の参加をお願いします。

③ 「公益社団法人」に認定され、4月1日に正式に発足します。一層の仕事の見直しが必要となります。

④ 4月から早良支部は早良出張所に名称を変更します。

次に、運営委員会（選挙管理委員会）より、委員長理事の選考についての話があり、満場一致で五島委員長が再選出されました。

最後に斉藤理事からお話があり散会しました。

剪定班で講習会を開催



2月16日（木）10時から午後3時まで、会議室で剪定班員13人が参加して

「剪定道具類の手入れ講習会」を開催しました。

石橋班長をはじめ箱島会員・森田（慶）会員が講師となり、①鋏類の研ぎ方 ②鋸の目立て方 ③トリマー（バリカン）の刃の取り替え方・研ぎ方・分解等 ④チェーンソーの刃の研ぎ方・取り替え方 ⑤各種ネジの締め方等を勉強しました。

これからの仕事に役立たせてください。

駐輪場接遇研修会開催



2月8日（水）・9日（木）両日の午後に早良市民センターで、駐輪場の就業会員170名が出席して「駐輪場接

遇研修会」が開催されました。

先ず、五島委員長から概況説明及び駐輪場での就業にあたっての心構え等の話があり、斉藤理事からは公共事業全般についての話がありました。

次に、以前NHKで放映された西新駅駐輪場の接遇状況のビデオを見て、接遇の原点を確認しました。続いて各駐輪場から接遇の取り組み状況の事例発表があり、井上公共担当より駐輪場における最近の問題点及び1月に実施したアンケートの結果等の報告がありました。

最後に斉藤理事より総括の話があり、研修を終了しました。

「福祉家事援助サービス」班 全体会議開催



1月23日（月）の10時から早良市民センターで、「福祉家事援助サービス」班の全体会議が67名参加して井上班長の司会進行で開催されました。先ず、五島委員長から概況説明があり、続いて井上理事からは次のような話がありました。「福祉家事援助班の配分金実績は市全体で前年比110%となり、早良支部では113%となっています。今後は会議を減らし、研修・講習を増やしていきます。県知事の年頭所感では子育てに高齢者を活用するとしています」。次に、塩野副委員長から「仕事を希望する人は、積極的に連絡して欲しい」との話がありました。

休憩を挟んで、通常は一人で仕事をするものの多い班員が、4つのグループに分かれて普段の悩みを話し合いました。初めての試みではありましたが、活発な話し合いが行われストレス解消の機会となったようです。

広報委員 高橋 勉



区

にしく

「役員会」開催



2月23日（木）10時から役員会が開催されました。桑野副委員長の司会で、岡崎委員長代行の挨拶につづき以下の通り会議が進行しました。

- ・委員長代行から、23年度事業実績について、
 - ①会員の状況は、1月現在1,145名です。
 - ②配分金実績状況は、H.23.4～H24.1で市営駐輪場管理業務の復活・家事援助サービス・子育て支援サービス等の高伸展により、24年1月現在で前年比は、全市の104%に対し西支部は123%です。
- ・公益社団法人認定に関しては、「書面評決」回収協力へのお礼、制度発足予定と制度改革の要点説明がありました。
- ・井上理事から、健康管理の為の定期健康診断の奨励と、就業開拓に力を注いでいきますと話がありました。
- ・鈴川担当から、今年度の11件の傷害・賠償・自動車事故発生状況について説明があり、基本に立ち返って安全・適正就業に臨んでくださいと話がありました。
- ・桑野担当から、就業開拓について具体的な取り組み内容の説明があり、会員自らも協力をお願いしますと話がありました。
- ・坂本互助会担当から、23年度互助会経過報告・行事予定についてと、昨年9月実施のアンケート調査で7,200名に発信して30名の回収（回収率0.4%）であったと話がありました。

次に、選挙管理委員会の進行で24年度委員

長理事選考が行われ、立候補者が1名のため信任投票が行われ、城千賀男会員が選出されました。

城千賀男次期委員長理事候補から挨拶があり、閉会となりました。

街頭指導全体会議

2月14日（火）岩野班長の司会で下記議題について、会議が開催されました。

1. 安全就業について（鈴川安全担当）
2. 西支部の現況と公益法人移行について（岡崎委員長代行）
3. 街頭指導業務に対する問題点と、就業マニュアルの周知について（岩野班長）

その他、会員より日常業務における意見交換がありました。

最後に、西区役所の田口係長から「街頭指導業務に対して、大変感謝しております。今後ともよろしくお願いします」とお礼の言葉があったことが、田中公共担当より紹介されました。

「会員のつどい」開催



大内士郎先生

3月16日（金）西市民センター大ホールにおいて、会員310名が参加して開催されました。松田常務理事、岡崎委員長代行の挨拶及び大内士郎先生による『川柳に見る人間模様』の講演がありました。

その中の一句を紹介します。

クーラーを消したつもりが テレビつき

午後は、会員による歌や踊り等、盛り沢山の演芸と、プロ野球公式戦観戦チケット（4・5月ヤフードーム）の抽選があり、牛島配食班リーダーによる万歳三唱で閉会となりました。

『福岡市保健衛生連合会々長 表彰・公衆衛生功労者 市長感謝状』受賞

上田弘会員は、平成7年定年の翌年に入会され、基幹事務担当を経て、現在は刈払除草班長を務めておられます。

このたび、平成23年度福岡市保健衛生連合会々長表彰及び公衆衛生功労者市長感謝状を受賞されました。「保健衛生連合会々長表彰」は、長年にわたる町内会役員・自治協議会役員等



平成23年度
福岡市保健衛生大会会場

の社会貢献活動に対して、「公衆衛生功労者表彰」は、保健福祉センターの指導による諸活動（献血・校区内公民館での母子巡回相談会・がん検診・ゴミ減推進運動等）の世話役としての活動に対してです。このような住みよいまちづくりへの長年にわたる幅広い活動が評価されての受賞は、「西区衛生だより」第38号（3月号）にも掲載されました。

何時までもお元気で、地域発展のためご尽力いただくよう祈るばかりです。おめでとうございます。

広報委員 瀧川 秀一

南区

みなみく

就業先情報



市民センターリサイクルボックス



国道385号線沿いにある南市民センター内にリサイクルボックスがあります。女性会員5名が1日2人体制で朝9時から午後5時まで就業しています。佐伯班長の話によると、来訪者も多く自家用車で運搬されているそうです。室内を見渡すと、ほとんどが新聞、雑誌、段ボールで山積していました。私たちを市民センターの職員と思われて優しい言葉づかいで話をされます。先日、お客様が室内を覗きながら、「よく整とんされていますね。」

とお褒めの言葉を頂き、カメラに納められました。

昨年末に福岡市は、「循環型社会の実現」を目指し、平成24～37年度でごみ処理量の10%の削減とごみのリサイクル率向上を計画しました。そのために地域の資源物回収拠点の整備・拡充と3R（スリーアール）…。①リデュース（ごみを減らす）②リユース（繰り返し使う）③リサイクル（資源の再利用）を重要視し基盤整備を行うと発表しました。ごみゼロ社会実現は程遠いかもしれませんが、しかしリサイクルボックスで、環境の美化を担っている一員であることを忘れずに、健康に気をつけて努力してください。

広報委員 高濱 一郎



講習会等実施結果



家事援助サービス班関係

■ 会員基礎研修会	第1回(4月25日)	受講者	43 名
	第2回(6月20日)	受講者	51 名
	第3回(8月29日)	受講者	59 名
	第4回(10月31日)	受講者	47 名
	第5回(12月19日)	受講者	35 名
	第6回(2月20日)	受講者	42 名
■ 健康生活支援講習会	第1回(6月7日)	受講者	30 名
	第2回(2月6日)	受講者	23 名
■ 子育て支援講習会 (3日間コース)	第1回(11月9・10・11日)	受講者 延べ	50 名
	第2回(3月7・8・9日)	受講者 延べ	51 名
■ 子育て支援短期講習会	第1回(9月22日)	受講者	27 名
	第2回(1月11日)	受講者	27 名
■ 掃除講習会	第1回(8月10日)	受講者	27 名
	第2回(11月25日)	受講者	28 名
	第3回(3月4日)	受講者	23 名



筆耕班関係

■ 筆耕講習会 (初級)	第1回(6月16日)	受講者	32 名
	第2回(11月21日)	受講者	40 名
■ 筆耕講習会 (実務者)	第1回(6月29日)	受講者	37 名
■ 筆耕判定会 (初級・中級)	第1回(7月7日)	受講者	58 名
	第2回(11月30日)	受講者	45 名
■ 筆耕判定会 (実務者)	第1回(3月2日)	受講者	27 名



剪定班関係

■ 剪定講習会（初級）	第1回（7月29日）	受講者	30名
	第2回（9月7日）	受講者	39名
	第3回（9月9日）	受講者	38名
	第4回（12月7日）	受講者	43名
	第5回（3月6日）	受講者	36名
■ 剪定判定会	第1回（6月3日）	受講者	32名

刈払・除草班関係

■ 座学	第1回（5月10日）	受講者	42名
	第2回（3月15日）	受講者	53名
■ 実技講習会	博多支部（4月21・22日）	受講者	7名
	東支部（6月27・28日）	受講者	10名
	早良支部（10月13日、3月22日）	受講者	39名
	中央支部（10月25日）	受講者	10名
	全体（3月28日）	受講者	17名

駐輪場関係

■ 新人就業会員接遇研修会	(11月29・30日、12月5・6・12・13・15日)	受講者	240名
■ 2年目就業会員接遇研修会	(12月5・12・13・15日)	受講者	130名

配食サービス関係

■ 接遇研修会	(11月15・18・21日)	受講者	26名
---------	----------------	-----	-----

地域リサイクル関係

■ 新人就業会員接遇研修会	(11月15・18・21日)	受講者	22名
■ 実務研修会	(11月15・18日)	受講者	53名

窓口案内・区役所駐車場・福岡アジア美術館業務・モラルマナーセンター他

■ 新人就業会員接遇研修会	(11月15・18・21日)	受講者	53名
---------------	----------------	-----	-----

その他

■ ビル・マンション清掃講習会	第1回（2月24日）	受講者	21名
	第2回（3月3日）	受講者	26名

街頭キャンペーン

■ 各支部にて実施		参加者	155名
-----------	-------	-----	------

平成23年度会議開催状況 (2月～3月)

●理事会

回	開催月日	議案
12	2月21日(火)	・シルバー人材センター正会員の入会について ・公益社団法人福岡市シルバー人材センター役員の報酬等及び費用に関する規程の一部改正について ・平成 23 年度予算の補正について ・公益社団法人福岡市シルバー人材センター公印規程（案）について ・社団法人福岡市シルバー人材センター財務規程（案）について ・公益社団法人福岡市シルバー人材センター安全・適正就業対策委員会規程（案）について
13	3月28日(水)	・シルバー人材センター正会員の入会について ・平成 24 年度予算（案）について ・平成 24 年度事業計画（案）について ・回収不能債権の処理について ・公益社団法人福岡市シルバー人材センター規程の改正について

●総務部会(委員長理事の会議)

回	開催月日	議案
11	2月15日(水)	・未収金対策について ・公益社団法人福岡市シルバー人材センター役員の報酬等及び費用に関する規程の一部改正について ・会員に対する謝金内規（案）について ・平成 23 年度予算の補正について ・安全・適正就業対策委員会規程の改正について（案）
12	3月21日(水)	・未収金対策について ・平成 24 年度予算（案）及び事業計画（案）について ・公益社団法人福岡市シルバー人材センター規程等の制定について ・回収不能債権の処理について

●業務部会(専任担当理事の会議)

回	開催月日	議案
10	2月17日(金)	・平成 24 年度事業計画（案）について ・公益社団法人福岡市シルバー人材センター役員の報酬等及び費用に関する規程の一部改正について ・平成 23 年度予算の補正について
11	3月16日(金)	・平成 24 年度予算（案）について ・平成 24 年度事業計画（案）について ・公益社団法人福岡市シルバー人材センター規程等の制定について

●合同部会(総務部会と業務部会の合同会議)

回	開催月日	議案
9	2月21日(火)	・平成 23 年度第 11 回「総務部会」及び第 10 回「業務部会」の報告 ・平成 23 年度 1 月「事業実績」について ・その他
10	3月28日(水)	・平成 23 年度第 12 回「総務部会」及び第 11 回「業務部会」の報告 ・平成 23 年度 2 月「事業実績」について ・会員手帳の改訂について

●安全・適正就業対策委員会

回	開催月日	議案
10	2月21日(火)	・事故状況について
11	3月28日(水)	・事故状況について

平成23年度 実績報告

平成 24 年 2 月末現在 ●会員数 7,272 名 ●就業者数 5,360 名
 男 性 4,789 名 ●就 業 率 54.7% (月平均)
 女 性 2,483 名 ●事業収入 19 億 3,131 万円

平成23年度 事故発生状況

平成 24 年 2 月末現在 ●傷 害 事 故 23 件 (前年同期 31 件 前年比 - 8 件)
 ●賠 償 事 故 17 件 (前年同期 22 件 前年比 - 5 件)
 ●自動車事故 14 件 (前年同期 22 件 前年比 - 8 件)
 ●累 計 54 件 (前年同期 75 件 前年比 - 21 件)

■傷害事故 (1 月 1 日～2 月末日)

日付	就業中 途上	性別	年齢	仕事内容	事故の状況	部位	症状	傷害の程度		
								入院	通院	手術
1/11	就業中	男	66	除草	清掃作業中にビンの破片を拾いゴミ袋に入れて移動中、誤って左薬指を切った。	薬指	切り傷		○	
1/23	途上	男	78	除草	作業終了後、自転車帰宅中に車道から歩道に上がろうとした際、石に乗上げ転倒した。	肋骨	骨折	○	○	
2/1	途上	女	71	屋内清掃	自転車で就業先へ向う途上、交差点で信号待ちをし、出発をする為にペダルを踏込んだが足が滑り左肩より転倒した。	肩	骨折		○	
2/15	途上	男	67	屋内作業	就業先へ徒歩で向かう途中、横断歩道で右折してきた軽乗用車と接触して転倒した。	腰	打撲		○	
2/18	就業中	男	68	剪定	剪定作業中に脚立を使って作業していたが、足元が不安定でバランスを崩し転倒した。	腰椎	骨折		○	

■損害賠償事故 (1 月 1 日～2 月末日)

日付	性別	年齢	仕事内容	事故の状況
2/20	女	67	家事援助	掃除機で室内清掃中に、絨毯の端とコードが吸込み口のローラーに巻き込まれ破損した。

■自動車事故 (1 月 1 日～2 月末日)

日付	性別	年齢	仕事内容	事故の状況
2/22	男	63	配食	配食先マンションの駐車場で方向転換のため補助員の確認なしにバックしたところ、駐車場の柱にバンパーが接触した。

予告 会員手帳の配付について

公益社団法人になったことに伴い、定款をはじめとする諸規程が大幅に変更されています。

そこで、公益社団法人に対応した会員手帳を、次回6月発行のシルバーだよりと同封して配付いたします。今回の会員手帳は、ビニール製のカバーが付いていますので、就業などで手帳を携帯する際に大変便利になっていますので、楽しみにお待ちください。

健康診断の受診報告にご協力を

センターでは、会員の皆様がいつまでも健康で、就業などさまざまな活動を続けていただくために健康診断の受診とその結果のご報告をお願いしております。

詳しくは、同封の「健康診断を受診し、安全・適正に就業しましょう！」をご覧ください。

配食の就業会員も頑張っています



「まごころランチ」



食の自立支援・配食サービス事業とは、福岡市在住の65歳以上の単身、もしくは高齢者のみでお住まいの虚弱等により食の自立が困難な方に、「まごころランチ」（福祉施設等で調理）を、ご自宅までお届けし、安否を確認するという福岡市が行っている事業です。

当センターは、この事業を福岡市から受託し、各区で就業会員の皆さんが活躍しています。

平成23年度に、利用者の皆様に、「ご飯」、「おかず」、「弁当容器」、「配達員の対応」等の項目でアンケートを行いました。

どの項目も、良い・普通が占めているなか、「配達会員の対応」については、良いが大半を占めていました。「利用者の声」の中では、「皆さんいい方ばかりで、親切に優しくお世話くださり、本当に有難く、もったいなく存じております。どうぞ今後ともよろしくお願いします」「暑い時も、寒い時も、お弁当を持ってきていただき、弁当が来る日は待ち遠しいです」「配食を受取に玄関に行く、半身が不自由な私に、優しく声をかけてくださる配達員さんに、うれしく安心を感じます。感謝です」など、配達就業会員の皆さんが、頑張っているのが目に見えました。

「まごころランチ」は、ごはん・おかず・汁物（味噌汁等）のセットで、1食450円です。

※ご利用を希望される場合は、福岡市からの認定が必要となりますので、まずはお住まいの区役所の福祉・介護保険課までお問い合わせください。

シリーズ

わが町の歴史散歩

25 中央区編

幕末の志士「平野 クニオミ 國臣」



平野國臣は、現在の中央区地行に生まれた。1828年(文政11年)勤王の志あつく、1858年(安政5年)に福岡藩を脱藩し、京都で尊王運動に参加した。

また、九州各地の志士を歴訪し、倒幕運動への結集を図るなどの活動に当時の薩摩藩、島津久光も評価していたそうだ。

1863年(文久3年)倒幕のため、同志と共に「生野の変」を起こすが失敗し捕らえられ、志なかば1864年(元治元年)37才であまりにも早い生涯を終える。

西公園には現在、平野國臣の銅像があり、中央区今川1丁目には平野神社が建立されており、有名な歌碑が人目を惹き付ける。

「我胸の 燃ゆる思ひにくらぶれば けむりはうすし 桜島山」

また、文献によれば國臣は文武両道に優れ、5才のころすでに百人一首を暗唱するなど、詩、和歌、漢文などに長けた人物であったそうである。

獄中で過ごす中、こよりをよって文字を創り、歌を詠んだという話も有名である。

筑前福岡が生んだ幕末の歌人として語り継がれている。

今回歴史散策をして、古きを温ね、新しきを知った。その心は、今も燃えている國臣の魂、文学を愛する繊細さとともに誇りをつらぬいた勇姿、ここ福岡に在り！



参考文献：西日本人物伝平野國臣
福岡歴史散歩

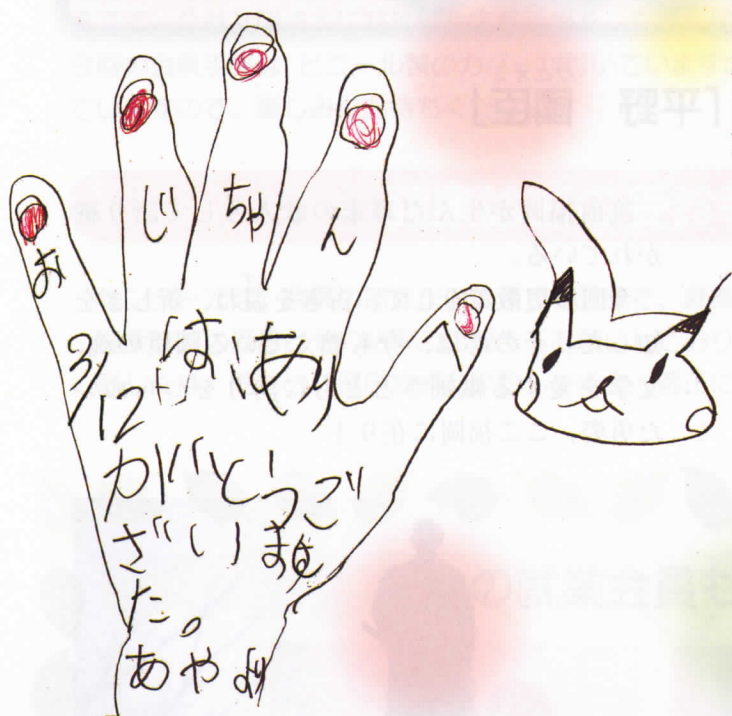
広報委員 井手上 勉

会員のひろば

おじちゃんへ 「お礼の絵手紙」

「いつも一〇番」活動を行っている梅林駅駐輪場に、七隈小学校に通う2年生の女の子から「おじちゃん、ありがとう」という内容のお礼の絵手紙が届けられました。

同駐輪場で就業していた中川健一会員によると、「3月12日の朝、大雪の中、歩道上に具合の悪そうな女の子を見かけたので、事務所の椅子に座らせ、お母さんに連絡して迎えに来てもらいました」とのことでした。



中央出張所 俳句の会「鴻臚」 師走の博多吟行

櫛田神社を始め師走の博多の街を吟行しました。この日は残り少なくなった冬紅葉を愛でながら思い思いに俳句を楽しみました。

丹後路の蕪村を偲ぶ帰り花	中村 幸女
冬の日や波のささやき人魚塚	榊 よし子
空の青雲一つなき柿日和	重松 雅女
冬晴にひときは赤きピラカンサ	石田 妙女
ジャンボくじ当てたらいくの雪祭	梶原 静枝
曲り角石路の花目印に	木村 順子
そこかしこ銀杏落葉の櫛田宮	田中すみれ
小春日や二才の十八番肩たたき	桐井 玉子
櫛田宮白侘助にそつと触れ	山根 里子
北風や海の恋しき人魚塚	一木キヨ子
念珠繰る手許に笑まむ冬日かな	大津 英世
枯菊や十年日記三冊目	佐野 貞昭
顔失せし地蔵は冬に堪えざりき	小林 奇遊
吟行や皆と歩きし散り黄葉	木寺 夢幻





きり絵「夢平詣で」



楽しいシルバー旅行でした！

先人の 知恵のつまりし なまこ壁

日奈久宿 ヒョットコさんと 握手する

面とれば ヒョットコさんは 女なり

天草の 海なぎわたり フェリー行く

西出張所 小松千又子



城南出張所 福山喜久枝



きり絵「少女」

平尾霊園の清掃活動に参加して

南出張所 成瀬 宗次

去る12月17日心配した天気はうす曇りの中、寒さも大したことなく、わが南区会員の就業先でもある平尾霊園の清掃活動に参加した。今年二回目の同活動の参加者は約30名、樹々の緑も多くゆつたりとしたこの平尾霊園は、歴史も古く静かなたたずまいで街にも近く、まさに地元では貴重な公園といってもよい存在と思われる。高台にあり春夏を通して格好の散歩コースで、当然落ち葉などの片付けだけでも相当なものである。

当霊園の清掃活動に参加するのは、まだ数年前からであるが、短時間ながらも作業後は清々しい気持ちの達成感を味わった。特に、この就業先の場合は少し大げさにいえば、この自然環境保護の一助というような我々世代が、引き継いで行くべき使命の一つを持ち合わせているからであらうか。自らの就業先を大事にするのは当然のことであり、併せて環境保護の役割を少しでも担えるとは全く幸せなことでもある。

我々シルバー会員が選択している仕事は、何事もそれぞれに社会的役割を持っている。平尾霊園のように公共性の高い意味を持つ就業先は少なく、従ってこういうボランティア活動は、もっともっとと広く積極的にやって行きたいものである。そして、このボランティア活動は既に同僚就業会員は勿論、ひいては南出張所の自慢の恒例行事になっていると思う。今後、更に南出張所の伝統的行事の柱として育てていくことを望みたい。また、駐輪場を主とする就業先のサービスタビリティの重要性を考えた場合の慢心はないだろうか。シルバー人材センターは全ての職種でも原点に帰る必要性を感じる。つまり社会貢献という我々世代の信条を貫きながらも、就業の場を護り継ぐことが後進のためにも大事である。会員一人ひとりの自覚も又、肝心ではないかと考える次第である。



互助会だより

平成23年度互助会事業活動報告

当年度から、独立して互助会事業を行なって参りました。収入見込みに不安を感じながらの活動でしたが、計画通りに事業を終えることができました。会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。尚、決算報告につきましては、5月に改めてご報告申し上げます。

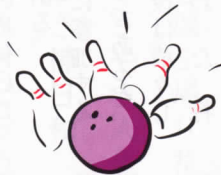
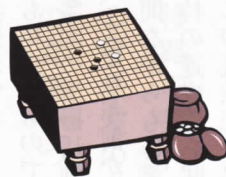
23年度の互助会役員及び業務委員の紹介並びに活動内容をご報告申し上げます。

1 互助会役員及び業務委員の紹介

会長	江口 清一
代表幹事	荒木 博子
業務委員(東 区)	小杉 眞雄
業務委員(博多区)	池田 光雄
業務委員(中央区)	原口 昌士
業務委員(南 区)	常金 恒好
業務委員(城南区)	神園 久(7月から)
業務委員(早良区)	安元 眞彦(9月まで)
	天野 俊實(10月から)
業務委員(西 区)	坂本 幸男

2 活動報告

- (1) 野球観戦(ヤフードーム)
平成23年4月～23年10月
- (2) サークル活動(35グループ)
平成23年4月～24年3月
- (3) 囲碁大会 平成23年7月
- (4) ボウリング大会 平成23年9月
- (5) ゴルフ大会 平成23年10月
- (6) 会員親睦旅行(支部毎)
平成23年10月～24年1月
- (7) 歴史探訪&ウォーキング大会
平成23年11月
- (8) 芸能大会 平成24年1月



3 その他

- 1 物故会員への弔慰金(41名)
- 2 アンケート実施(互助会に対する要望)

平成23年9月配布

平成 24 年度 主な活動予定

- (1) 野球観戦チケット (ヤフードーム)
平成24年3月～24年10月
- (2) サークル活動 (32 グループ)
- (3) 囲碁大会 平成24年7月予定
- (4) ボウリング大会 平成24年8月予定
- (5) 歴史探訪&ハイキング大会
平成24年9月予定
- (6) ゴルフ大会 平成24年10月予定
- (7) 会員親睦旅行
平成24年10月～25年1月予定
- (8) 芸能大会 平成25年1月予定

平成 24 年度 各区サークル活動紹介

●東区

ゴルフ同好会 (イーストグリーン会)
パソコン同好会 (A 班)
囲碁同好会
将棋愛好会
手芸同好会「ひまわり会」

●博多区

歌ごころの会
天元会 (囲碁同好会)
博多釣りクラブ

●中央区

グリーン会
俳句の会「鴻艦」
和楽クラブの会
歩こう会



●南区

みなみニコニコ会
みなみパソコン同好会
カラオケ愛好会「雲雀」
社交ダンスクラブ

ボウリング同好会
みなみ囲碁同好会
コスモス会



●城南区

南友会
山歩の会
楽しく歩こう会
手芸サークル「まんさくの会」

●早良区

室見駐輪場ソフトボール部
早良区駐輪場囲碁同好会
遊友会

●西区

囲碁・将棋愛好会
芝遊会
西区元気歩こう会
なかよしカラオケクラブ
海釣クラブ
ふようの会



平成24年度定時総会のお知らせ

- 日時／平成24年5月30日(水)午前10時開会予定
- 場所／福岡市民会館 福岡市中央区天神5丁目1-23

総会は、平成23年度の決算の審議、承認や、平成24年度の予算案の報告が行われる、福岡市シルバー人材センターにとって重要なものです。

総会には是非ご出席ください。就業等によりやむを得ず欠席される方は、委任状(5月中旬に配布予定)の提出をお願いします。

なお、総会は午前中で終了致します。



弁当の廃止について

総会・会員のつどい・地域懇談会等でご用意しておりました弁当は、公益社団法人化に伴い、全面廃止することといたしました。ご了承ください。

平成24年度会費の納入について

平成24年度の会費は、会費規約に基づき、定時総会の開催までに納入する必要があります。口座振替の登録をしている方で、**4月1日時点で会員登録をしている方**につきましては、下記の日程で口座振替を実施いたします。

◎口座振替実施日／平成24年5月21日(月)

口座振替の登録をされていない方には、「会費納入のお願い」を送付いたしますので、記載の期日までに納入をお願いします。なお、お振込の際には、金融機関所定の振込手数料が必要となりますのでご注意ください。

編集
後記

4月になると、遠い昔に母親と一緒に桜の下を潜って、小学校の入学式に臨んだことを思い出します。最近、新聞紙上では「秋入学」が話題となっており、その理由は、この「秋入学」を世界の7割が採用しており、留学生の受け入れ・送り出しが容易になるとのことです。「桜の下での入学式」から「紅葉の下での入学式」となるのでしょうか。今月からシルバー人材センターは、「公益社団法人」として新たなスタートを切ります。「自主・自立・共働・共助」のもとで、一層の社会貢献を願います。(T.T)

「ふくおかシルバーだより」 発行元／公益社団法人福岡市シルバー人材センター

◎ご意見やお便りをお待ちしています。

〒812-0044 福岡市博多区千代1丁目21-16

TEL(092)643-8200 FAX(092)651-5000

HP <http://www.fukuoka-sjc.org/> e-mail honbu@fukuoka-sjc.org